

# 「9条は人類共通財産」



憲法9条の価値などを訴えた集会参加者によるデモ行進。3日、福井市手寄2丁目

## 福井で集会 350人 憲法の価値訴え

憲法記念日の3日、現行憲法の価値について考える「憲法を守り育てる集会」が福井市のアオッサ国民ホールであった。憲法施行から70年を迎え、「9条の重要性はますます増大している。人類共通の財産として、世界の平和のために絶対必要」との認識を参加者はあらためて共有した。「九条の会・ふくい」と「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」が主催。約350人が参加した。「九条の会」世話人の朝倉むつ子早稲田大大学院教授(68)＝労働法、ジェンダー法＝が、「私と日本国憲法」9条は日本から世界への贈り物」と題して講演した。朝倉教授は、安全保障関連

法の成立過程に触れ「9条の理念を閣議決定で覆した。立憲主義に反する」と批判。安保法制に反対する専門家らの見解を挙げながら「この法律が違憲である、というのを絶対に忘れないことが大切」と訴えた。全国で提起されている安保法制を「違憲」とする訴訟の状況も説明。朝倉教授が原告に名を連ねる訴訟もあり、「司法は正義と権利を守る最後のとりで。大きな声を皆さんと

上げていきたい」と理解を求めた。

また、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案を巡り、弁護士茂呂信吾さん(福井市)は「政府を批判する言動を抑圧する。民主主義が機能しなくなる」と懸念を表明した。

集会終了後、約100人がJR福井駅周辺をデモ行進し「憲法を守ろう」などとシュプレヒコールを上げた。

(伊豆倉知)